



## 簡単集音器を作って、 自然の音に耳をかたむけよう！

手のひらを広げて耳の後ろにそえると、周辺の音がよく聞こえたという経験をしたことはありませんか？ この仕組みを利用したスゴ技が、プラカップで作る「簡単集音器」です。自然には、いろいろな「音」があふれています。自然観察をするときに、音は重要な情報のひとつで、生きものを見つける手がかりになります。簡単集音器で、自然の音に耳をかたむけてみましょう。

### 材料



プラカップ

\*耳をおおえるサイズのも  
のを2つ用意する。ふ  
たは使わない。



布粘着テープ

\*紙粘着テープではなく、  
布粘着テープを選ぶ。



輪ゴムホルダー（磁石付き）と

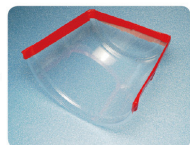
強力磁石（または輪ゴム）  
\*使うときの持ち手になる。

用意する工作道具 ペットボトル用はさみ

### 作り方



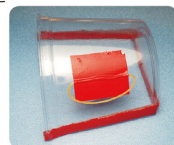
①プラカップを半分  
に切る。



②切り口に布粘着テ  
ープを二重にはり、ゆが  
まなくする。



③持ち手になる輪ゴムホ  
ルダーをプラカップの外  
側に置き、内側から強  
力磁石で固定する。



持ち手は、輪ゴムを  
布粘着テープでとめて  
も作れる。

身近な音ってあんがい気がつかないものです。集音器のいいところは、ひとつひとつの音に集中できることです。かんたんな装置ですが、ご近所自然の魅力を再発見できるすぐれものですよ。  
(奥山)

### 観察方法



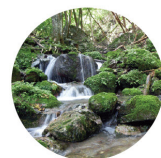
音の正体は何だろう？

両耳に簡単集音器を当てて、音の聞こえる方向に体と顔を向けます。いちばん音が大きく、はっきりと聞こえるポイントがわかったら、そこでストップし、目をつぶって音に集中してみましょう。



双眼鏡を使うと、  
音の正体を見つけやすい。

### どんな音が聞こえた？



せせらぎの音。



秋の初風の音。



オオルリのさえずり。



ヒガシキリギリスの鳴き声。



ヌマガエルの鳴き声。



### 音をオノマトペで記録する

録音するだけが、音の記録ではありません。自分で聞いた音を、あえて「言葉」で表現してみるという方法があります。これはオノマトペ（擬音語）と呼ばれ、スズムシの「リーン・リーン」や、ウグイスの「ホー・ホケキョ」などがよく知られています。聞いた音を、自分が感じたように言葉にして、自然の音を記録してみましょう。

◆自然を調べるプロのスゴ技にチャレンジ！ 特別配信版（期間限定）／少年写真新聞社『100円グッズと身近な道具でできる！博物館のプロのスゴ技で自然を調べよう ②観察と調査』小川誠・奥山清市・矢野真志／共著（西日本自然誌系博物館ネットワーク）p.18-19より  
※このシートは、非商業的な利用に限り使用を許諾します。 ©小川誠・奥山清市・矢野真志